

令和3年9月7日

保護者様

山口大学教育学部附属山口小学校
校長 吉 鶴 修

令和3年度全国学力・学習状況調査結果について

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援をいただき、心より感謝いたしております。

さて、令和3年度全国学力・学習状況調査結果等を下記のとおり、お知らせします。つきましては、お子様のこれからの学力向上の資料として役立てていただきますようお願いいたします。

なお、この調査結果は学力の一部であることを申し添えます。

記

調査の目的：義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

	平均正答率 (%)			
	附属山口小	山口県平均	令和3年度全国	令和元年度全国
国語	78	64	64.9	64.0
算数	84	69	70.3	66.7

※平成29年度からは、都道府県・市町村等における各区分の平均正答率は、整数値で提供。全国については小数第1位で公表

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症まん延による、休校等のため実施していません。

学習指導要領の内容や領域に応じた正答率

国語	平均正答率 (%)		算数	平均正答率 (%)	
	附属山口小	令和3年度全国		附属山口小	令和3年度全国
話すこと・聞くこと	89.7	77.9	数と計算	75.0	63.3
書くこと	71.5	60.8	図形	79.0	58.1
読むこと	56.4	47.4	測定	88.7	74.9
言葉の特徴や使い方に関する事項	84.1	68.5	変化と関係	88.2	76.0
			データの活用	87.7	76.1

学力状況の結果について

(国語)

国語科の学習指導要領の内容には「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」の4項目がありますが、どの項目においても全国平均を上回っています。特に、「話すこと・聞くこと」の項目については全国平均を大幅に上回り、90%近くの正答率となっています。これは、本校が、子どもの問いや子ども同士の関わりを大切にした授業を展開していることやフリーストーリーを実践していることが大きな要因であると考えています。また、「言葉の特徴や使い方に関する事項」についても、文の中における主語と述語との関係や修飾と被修飾の関係を捉えることなどが理解できていました。「読むこと」の項目についても、文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄

を把握することがしっかりできています。ただし、文章と図や表を結びつけて必要な情報を見つけ出したり、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することなどに課題が見られます。図表やグラフなどを含む文章を読む際に、文章の中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結びつくのか明らかにし、文章と図表との関係を捉えて読むことができるようにしていきたいと思います。

(算数)

算数科では「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の5領域が学習指導要領に示されていますが、どの項目においても、10%以上、全国平均を上回っており、算数の力がしっかりと育っていると言えます。国語同様、子どもの問いや関わり合いを大切に授業を展開していることが、子どもの主体的な学習態度を高めることになり、それが学習の理解を高めることにつながっていると考えています。児童質問紙に「算数の勉強は好きですか」という項目がありますが、肯定的な回答している子どもが、全国平均67.8%に対して、本校児童は、77.3%と上回っています。さらに「算数の授業の内容はよく分かりますか」という項目では、肯定的な回答をしている子どもが、全国平均84.6%に対し、本校児童は97.0%をしめしています。友達と関わり合いながら楽しく算数の授業に取り組み、そして算数の授業がよく分かることでさらに楽しくなるという好循環が生まれていると考えています。この好循環を継続するとともに、さらに高めていきたいと思います。

質問紙の結果について

○自己肯定感が高く、前向きに取り組んでいる。

「自分には、よいところがあると思うか」・・・(肯定的回答 本校81.8%・全国76.9%)

「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしているか」・・・(肯定的回答 本校90.9%・全国84.4%)

「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦しているか」・・・(肯定的回答 本校81.8%・全国70.9%)

○人のためにという意欲が高い。

「人が困っているときは、進んで助けているか」・・・(肯定的回答 本校94.0%・全国88.7%)

「人の役に立つ人間になりたいと思うか」・・・(肯定的回答 本校96.9%・全国95.5%)

○人と関わり合うことにとっても前向きである。

「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができるか」・・・(肯定的回答 本校86.3%・全国70.3%)

「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか」・・・(肯定的回答 本校90.9%・全国70.2%)

「友達と協力するのは楽しいと思うか」・・・(肯定的回答 本校98.5%・全国93.9%)

質問紙の項目の中から、肯定的回答が全国より高いもので特徴的なものを示しています。「自己肯定感が高く、前向きに取り組んでいる」「人のためにという意欲が高い」「人と関わり合うことに前向きである」というところは、すばらしいところだと思います。これらの良いところを毎日の生活の中で、我々教師や保護者が児童一人ひとりをしっかり認め励まし、価値づけていくこと(あなたのここが、○○という理由ですばらしいと伝わるように話すこと)が大切だと感じています。

児童の成長過程の中で友達との様々なトラブルもあるかもしれません。しかし、関わり合うからこそ、良いことも、そうでないことも起こります。トラブルなども、将来、大人として人と関わり、様々な人の中で生きていくことにおいて避けられない部分があります。これから大人になって自分の力で生きていく児童には、トラブルがあったときにどのように解決していくのか、どのように折り合いをつけるのかも含めて、学校という集団の中で学び、大きく成長してほしいと願っています。

これからも、『大人になっていく人の成長に携わる』ということをお忘れず、「よりよい未来を共に創り出す人間」の育成に向かって、学校・保護者・地域・大学が支援し合えることをめざしたいと思います。

※ 学力状況調査・質問紙の調査結果の詳細については、後日、ホームページに掲載いたします。

※ 6年生の個人票については、個人懇談の際に、配付いたします。